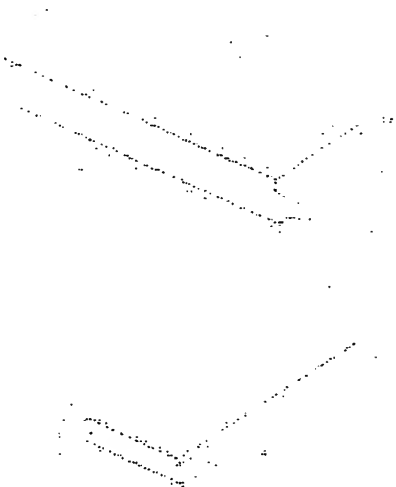


FLOOR MATERIAL

Patent number: JP1178659 (A)
Publication date: 1989-07-14
Inventor(s): SAWADA KOJI; TANAKA HIROYUKI
Applicant(s): IBIDEN CO LTD
Classification:
- international: E04B1/684; E04B1/68; E04F15/04; E04B1/684; E04B1/68; E04F15/04; (IPC1-7): E04B1/68; E04F15/04
- european:
Application number: JP19880004192 19880111
Priority number(s): JP19880004192 19880111

Abstract of JP 1178659 (A)

PURPOSE:To prevent putrefaction of floor materials and water absorption from a floor surface, by attaching a face material on an upper surface of a floor base and adhering a resilient synthetic resin sealing material onto the given position of side face of the base. **CONSTITUTION:**A floor base 1 is made of woody material such as particle board and is formed into a desired size and thickness. A face material of WPC wood is applied onto the upper surface of the floor base 1 to produce a high-grade floor component 10. On one side of the base 1 is provided a projecting part 1a while a recessed part 1b is formed on the opposite side of the base 1. The floor components 10 are rigidly connected with each other by engaging the projecting part 1a of one floor component with the recessed part 1b of the adjacent floor component.; A resilient sealing bands 5a, 5b of synthetic resin are attached through adhesive layers 3 onto the given position of both sides of the base 1, which prevents water penetration into the inside of the floor component.



Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-178659

⑮ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)7月14日

E 04 F 15/04

B-7023-2E

E 04 B 1/68

D-8504-2E

E 04 F 15/04

F-7023-2E 審査請求 未請求 請求項の数 4 (全6頁)

⑭ 発明の名称 床 材

⑯ 特 願 昭63-4192

⑰ 出 願 昭63(1988)1月11日

⑱ 発 明 者 沢 田 孝 司 岐阜県大垣市青柳町300番地 イビデン株式会社青柳工場内

⑲ 発 明 者 田 中 博 之 岐阜県大垣市青柳町300番地 イビデン株式会社青柳工場内

⑳ 出 願 人 イビデン株式会社 岐阜県大垣市神田町2丁目1番地

㉑ 代 理 人 弁理士 広江 武典

明 細 書

1. 発明の名称

床 材

2. 特許請求の範囲

(1) 基材の上面に表面材を貼着してなる床材において、

基材側面の所定位置には弾性を有する合成樹脂からなるシーリング材を貼着したことを特徴とする床材。

(2) 基材の一側面には外方に突出する凸状部を設けると共にこの凸状部を有する一側面の反対側面には切り欠かれた凹状部を設けてなり、シーリング材は基材の側面であって凸状部の上部に貼着したことを特徴とする請求項1記載の床材。

(3) シーリング材は帯状の定形であることを特徴とする請求項1記載の床材。

(4) シーリング材が貼着される基材の側面は、

シーリング材の貼着面に合わせ切り欠かれていることを特徴とする請求項1記載の床材。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は床面の表装に使用される床材に関し、更に詳しくは基材と表面材とから構成されると共に目地部に防水処理が施された床材に関する。

(従来の技術)

家屋の床面を表装するためには、所定形状の床材を順序良く並べながら隣り合う床材同士を嵌合しつつ貼着したり、木ネジや釘等で固定するのであるが、側面から押圧しながら床材と床材の間の目地部に隙間が生じないように形成しても、完成後時間の経過につれ床材の変形などが生じるためこの目地部の隙間を完全に無くすることはできなかった。

(発明が解決すべき課題)

床面のこれら目地部に隙間が存在すると、水や

その他の液体をこぼしたりした場合に、当然ながらこの目地部の隙間から水が床材に浸みて、回数を重ねれば床材自体に反りが生じ床面が歪んでくるといふ事態になる。更に床下地材にもこの水等が伝わって腐ったりすることにもなった。

従来においては、床材の表面部分を例えば WPC 化木材を使用したりして吸水性を無くしたり、隣り合う床材の側面の凸状部と凹状部の嵌合を精度良くせんとしたり、或いは床材自身や床下に防霉処理をするなどして対処していたが、目地部自体には何らの対策が施されていなかったため、水等の浸透に対する根本的な解決にはなっていなかった。基材を合成樹脂にて形成する手段もあるが、基材自体には浸透しなくても目地部に水分を含んだままになったり、床下などに滴下するなどの問題点は残存していた。

(課題を解決するための手段)

本発明は上述の問題点に鑑みなされたもので

あって、床面の目地部から水等が床材や床下面に浸透しないよう防水処理を施した床材を提供するものであって、その手段は、

基材の上面に表面材を貼着してなる床材において、

基材側面の所定位置には弾性を有する合成樹脂からなるシーリング材を貼着したことを特徴とする床材である。

そして、この基材の一側面には、外方に突出する凸状部を設けると共にこの凸状部を有する一側面の反対側面には切り欠かれた凹状部を設け、シーリング材は基材の側面であって凸状部の上部に貼着するのがよい。

この場合、シーリング材は帯状の定形とすることができ、

更に、シーリング材が貼着される基材の側面は、シーリング材の貼着面に合わせて切り欠かれているのがより好ましい。

3

(実施例)

以下本発明に係る床材につき、添付の図面に従いその実施例を説明する。

第 1 図は本発明に係る床材(10)の一実施例を示す斜視図であり、第 2 図はその部分拡大図である。

図に示すように、床材(10)は本実施例では基材(1)の上面に表面材(2)として WPC 化木材を貼着した高級床材(10)である。

本実施例では基材(1)はパーティクルボードや合板など木質系の材料を所定大きさ及び厚さに形成したものであるが、基材(1)は木質系材料に限らず、例えばケイカル板のごとく無機質系材料や合成樹脂材料であってもよい。尚、必要に応じて本実施例のごとく、基材(1)の下面にパッカー材(4)を同様の接着剤(3)にて接着してもよい。

表面材(2)は本実施例では WPC 化木材を使用しているが、特に限定されるものでもない。

5

4

基材(1)と表面材(2)とは、本実施例では接着剤(3)としてウレタン系樹脂を所定量塗布することによって貼着してあるが、他にエポキシ系樹脂や酢酸ビニール系樹脂等であってもよい。その塗布量は 100 ~ 400g / m² 程度が好ましく、ヘラ塗り或いはスプレーやロールにて塗布されるものである。

尚、本実施例の床材(10)においては、第 1 図や第 2 図に示すように、基材(1)の側面には外方に突出する凸状部(1a)を設けると共に、この凸状部(1a)を有する側面の反対側面には切り欠かれた凹状部(1b)を設け、第 4 図に示すように凸状部(1a)と凹状部(1b)とを互いに嵌合させることで、床材(10)同士が強固に嵌合されると同時に仮り止めや表面調整を行ない易くしている。

そして、本発明に係る床材(10)には、基材(1)の側面の所定位置には第 3 図に示すような合成樹脂からなる帯状の定形シーリング材(5a)(5b)がや

6

はり同様の接着剤(3)や、又は接着性を有するシーリング材(5a)(5b)自身にて貼着してある。この定形のシーリング材(5a)(5b)は弾性を有するものであって、本実施例では帯状の定形のシーリング材(5a)(5b)としてポリウレタン系樹脂を採用しているが、所望の性質を有するものであれば、ポリウレタン系樹脂に限らず例えば、ポリ塩化ビニール系、クロロブレンゴム系、クロロスルホン化ポリエチレン系、エチレンプロピレン系、ポリエチレン系、ポリスチレン系、アスファルト含浸ウレタン系であってもよい。又、その形状も帯状に限られるものではない。更に不定形のシーリング材として、シリコン系、変成シリコン系、ポリサルファイド系、ポリウレタン系、アクリル系、ブチル系、SBR系の材料であってもよい。

シーリング材(5a)(5b)は合成樹脂からなるため、水分を内部へ吸収することなく、その浸透を防ぐことができるのである。更にシーリング材(5

a)(5b)は弾性を有しているので、床材(10)同士の嵌合時には側面からの押圧により一旦収縮してその嵌合工程に何ら支障を生じることはなく、床面の完成後には元の形状に戻ろうとして、目地部(6)の隙間を塞ぐものである。

又、本実施例では定形のシーリング材(5a)(5b)は基材(1)の側面であって上述した凸状部(1a)の上部に貼着してあるので、目地部(6)の隙間を少しの分量で床材(10)の表面から完全に充填することができると共に、凸状部(1a)に遮えぎられて下方へ移動することもなく、かつ基材(1)の側面に貼り易いのである。更に本実施例では定形のシーリング材(5a)(5b)が貼着される基材(1)の側面(15a)(15b)は、この定形のシーリング材(5a)(5b)の貼着面(15a)(15b)の形状に合わせ切り欠かれており、その貼着を一層容易にしてある。従って、誤ってこの床面に水等をこぼしても、床材(10)間の目地部(6)には定形のシーリング材(5a)(5b)が

7

充填されているので、目地部(6)内や床下へこれらの水等が浸透することなく、防水処理の施された床材(10)、床面となるのである。

第4図は床材(10)同士を嵌合せんとする拡大正面図であり、第5図は嵌合し床面を形成した状態の斜視図である。

(発明の効果)

本発明は上述のとうり構成されているので以下に記載する効果を奏する。

請求項1に係る床材にあっては、

この合成樹脂からなるシーリング材により、床材間に存在する目地部の隙間から水等が浸透して床材や床下面が腐ったり、床面が水分を吸収して反ったりするといったことを防ぐことができるものである。

又、シーリング材が弾性を有しているので、床材同士の嵌合には何ら支障なく通常の床面が形成されるものである。

8

請求項2に係る床材にあっては、

更に凸状部及び凹状部によって床材同士が強固に嵌合されると同時に仮り止めや表面調整を行ない易くなり、目地部の隙間を少しの分量で床材の表面から完全に充填することができ、しかも凸状部に遮えぎられてシーリング材が下方へ移動することもなくかつ基材の側面に貼り易いものである。

請求項3に係る床材にあっては、

シーリング材は帯状の定形であるので、その取り扱いが便利である。

そして請求項4に係る床材にあっては、

シーリング材が貼着される基材の側面が、そのシーリング材の貼着面に合わせ切り欠かれているので、シーリング材の貼着を一層容易にし、剥れることがない。

4. 図面の簡単な説明

第1図は床材の一実施例を示す斜視図、第2図

9

10

はその部分拡大図、第3図はシーリング材の一実施例を示す斜視図、第4図は床材同士を嵌合せんとする拡大正面図、第5図は床材同士を嵌合して床面を形成した状態の斜視図である。

符号の説明

10 … 床材、1 … 基材、

2 … 表面材、

5a, 5b … シーリング材。

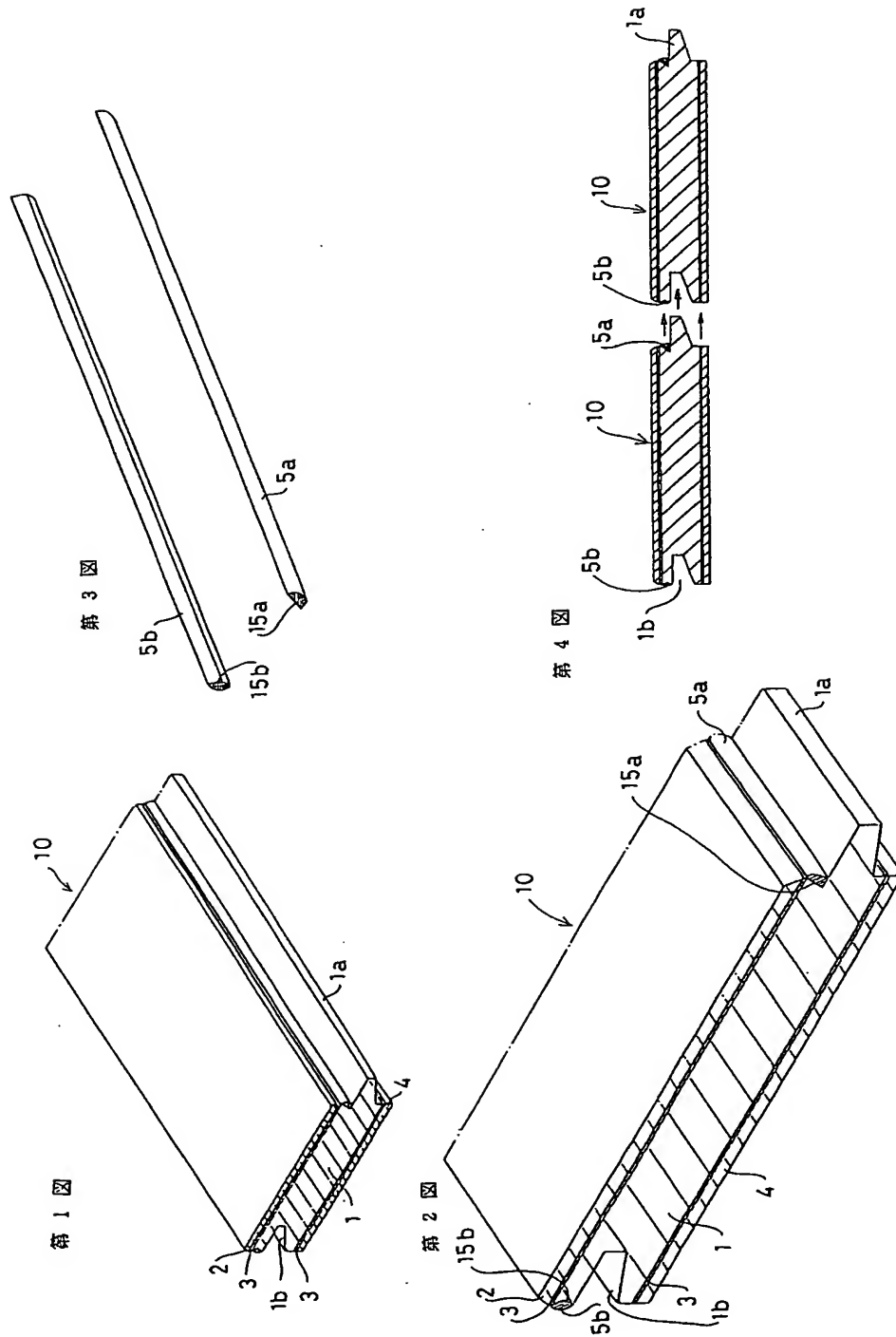
特許出願人

イビデン株式会社

代理人

弁理士 廣江 武典





第 5 図

